

多可町タイムズ

2008.3.1
平成20年 8号

発行:多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
☎0795-32-2385
E-mail kyoiku@takacho.jp



おもな内容

・町内学校トピックス

- ①いま学校では ②クラスの日記
- ③保健室から ④校長先生の目

・特集Ⅰ『那珂ふれあい館』

・町内の県立学校（北はりま特別支援学校）

・特集Ⅱ『出前授業』

校では・・・



げんきいっぱい けやきっこ 中町幼稚園

—郷土を愛する心を育て—

子どもたちは、地域の風土やさまざまな文化環境の中で育っている。幼稚園が地域のお祭りや行事にかかわっていくことは、子どもの情操を豊かにすると共に、将来自分たちの生活する場や歴史を見つめることになり、地域文化を興し、伝えていく気概を育てることにもつながっていくのではないかと考え、幼稚園で地域の伝統文化を取り入れた保育を実践している。十一月に荒田神社に行き、神楽保存会の方から話を聞いたり神楽舞を見せていただいたりした。また、一月には親子で『安楽田神楽』を鑑賞する機会を設けた。神楽の動き（表情）、澄んだ笛の音色、見ているものすべてが心に響く感動を覚えたような気がした。



荒田神社に行きました。そして、神楽舞を見せていただきました。神社の中で見る神楽、厳かで凛とした気持ちになりました。



親子で一緒に神楽を見ました。神楽の動き（表情）に笑いがおこったり力強さに感心したりしました。また、素晴らしい笛の音に魅了しました。



かるたあそび

「何したい？」「教えてあげよか」と小さい子の気持ちに寄り添っている姿が見られ、心も身体もぐんと大きくなつたように感じました。

広がっていました。



じゃんけん ぽい

保育所のお友だちが遊びに来てくれた2月4日。幼稚園はいつもの以上に笑い声とやさしさでいっぱいになりました。

はじめは、どちらもなんだか緊張気味。はずかしそうにしていましたが、勇気を出して「遊ぼう」の一言を言ってからにはまるで別人のよう。どんな遊びの輪が広がっていました。

小学生のお兄さん、お姉さんといるといつい甘えてしまうことがありますが。幼稚園の友だちといるとちよびりいばつてしまうことがあります。その中で自分の思いを受け止めてもらうことも、友だちと衝突することも大切。そしてあの日のように自分のしたことで相手が喜んでくれたと感じることも大切。

いろいろな人たちとふれ合うことで子どもたちはたくさん学ぶ機会を学び、身に付けていきます。卒園まであと少し。ランドセル、机と小学生への準備が整っていくのに、負けないよう、心と身体準備もしっかりしていきたいと思っています。



まっつい

ようちえんに

ようこそ





春は目撃 突きた日々を

キッズランド

0・1・2歳児

「せんせい、まだ〜?」
「まだまだ。まってるね」
わくわくのおやつタイム。んん〜
いい匂い。



4歳児

誰のこまが一番回るか競争だ!
頑張れ!僕のこま!



3歳児

手形べたべた。
保育者と一緒に発表会を作りあげています。これは、みんなで背景の山を作っているところです。



5歳児

弓矢遊びが流行っています。狙った的をめがけて矢を放ちます。子ども達の目標は、山へ鹿捕りに。今は、紙の鹿を狙って腕を磨いています。みんなで、鹿鍋を食べるのはいつの日か...



杉原紙の卒業証書 杉原谷小学校

寒さに負けず...

今年も伝統の手漉き和紙「杉原紙」を使った卒業証書づくりで、六年生の児童三十名が挑戦しました。



12月にコウゾ刈り

すき体験しています。特に六年生は、原料のコウゾ・トロロアオイを校内や校区内で収穫し、蒸して皮をはぎその後校区を流れる杉原川の流水でさらすなど、紙作りの全工程を経験します。

冬の、水が冷たくなつた頃によりよい紙ができることから三学期になると六年生の児童が紙作りをしている様子が見られます。雪の降る中でコウゾ蒸しの湯気



根気があるコウゾたたき

自分であげた杉原紙に氏名や生年月日が書き込まれ、証書が完成します。三月二十一日の卒業式には「世界でたった一つの卒業証書」を受け取り、杉原谷小学校を巣立っていきます。

き舟」の前に立ちます。すきぎたを揺すって慎重に厚さを整えていく動作はむずかしく感じる児童も多く、失敗もしますがやり直して納得のいくまで頑張っていました。すきあがった紙は、また児童の手で乾かす作業もされます。



春蘭の家での紙すき

校では・・・



高梨敬一郎氏 八千代南小学校に 来たる



元NHKアナウンサーで、ニュースキャスターとして活躍された高梨敬一郎さんが八千代南小に来てくださいました。

【二年生】

『音読発表会をしよう』という単元で「たぬきの糸車」を教材とし、相手に伝わるように音読を工夫する授業をしました。自分たちで話し合った後、高梨さんにゲストティーチャーとして授業に入ってもらいました。子どもたちの目線に合わせて、まず自分の名前の紹介。ほのぼのとした温かい雰囲気子どもたちに接してくださった音読指導。文と文との間のとり方など、しっかりと子どもたちの心に響いていました。一年生のみんなとってもいい顔してましたよ。



【五年生】



「大迫しいさんとがん」の音読授業をしてくださいました。作者 鳩原十さんとの話。一緒にお風呂にも入られたとか、子どもたちは、作者が身近になったようでした。高梨さんは、別名「ミスター間」と呼ばれており、間の大切さや取り方を教えてくださいました。また、聞き手が目を閉じて聞いて、イメージできる読み方など、読みのやや苦手な子どもも、高梨さんのマジックにかかったように音読しました。その後の授業の音読でも、学んだことが生きているようです。一年生も五年生も、高梨さんととてもよい時間が共有できました。

【職員研修】

高梨さんをお招きして、一年生の授業の事後研修会と音読についての研修会を行いました。「こんざつね」を教材とし、私たち職員も子どもになつての研修です。音読の仕方、作者について、地元の言葉についてなど、学ぶことの多い研修会でした。

一年間、八千代南小にいろいろな講師さんにご来校いただき、子どもたちも職員も共に学び、充実した時間が過ぎました。



あの日のいよはぶなない

「みんな震災後に生まれたんだねー」フアミリー参観日



引き渡し訓練の様子

1月31日（木）、今年度最後の参観日を行いました。「フアミリー参観日」と銘打って、お父さん・お母さんともにおじいさん・おばあさんにもお越しいただきたいと、プリント、そして子どもたちの呼びかけでお知らせしました。当日は、世帯数の約半数のおじいさん・おばあさんにお越しいただき、子どもたちの学習の様子をご覧いただきました。

今年度最後の参観日。全学年テーマは「震災」。小学校では防災教育の読本として「明日に生きる」（県教委発行）を用いています。読本の資料、また、自作の資料をもとに、震災の恐ろしさ、もしも、今地震が起きたら……など、学年に応じた内容で防災について学習しました。



防災の学習に引き続き、低学年・高学年に分かれて「語り部KOB1995」の方々から、阪神淡路大震災についてのお話を聞かせていただきました。



語り部KOB1995の方のお話

地震は「ジェットコースターの上で左右斜めの揺れがいつべんに来たようでした」「足もとにテレビが飛んできました」「バジャマの外に逃げたのです」と地震が起きたときの様子を、子どもたちにわかりやすい言葉でお話くださいました。実体験にもとづくお話は、生々しく迫力があり、子どもたちはじっと聞き入っていました。

そして、締めくくりは「引き渡し訓練」。みんなで防災の学習にどっぷりとつかった参観日でした。

八千代西小



いま、学

1・17は忘れない!

加美中学校

今年もあの日が続いてきました。阪神淡路大震災から十三年、震災から得た教訓を風化させないために、本校でも生徒会による集いをしました。

当時二歳だった私には、そのときの記憶は全くありません。大きくなってからテレビで被災の様子を見ても、こんなに近くで起こったなんて信じられませんでした。大切な人が突然亡くなり、自分の家がべしゃんこになる。被災された方は、言葉で表すことのできないような思いだったでしょう。ニュースで、

「この震災を忘れてほしくない。」と語られる被災者の姿を見ました。私たちは、時の流れとともに、いろいろなことを忘れてしまっています。けれども、この震災から学んだことは、決して忘れてはいけません。

『命の尊さ』『復興の中で生まれた絆』『支え合う心』

私たちは、今生かされていることに感謝しつつ、勉強に、スポーツにがんばっていきましょう。

(生徒発表)

生徒代表による意見発表と黙祷を捧げる全校生



集いの後、各クラスに帰り、非常食給食を体験しました。

メニューは、アルファ化米と豚汁、バナナ、乾パン、クラッカー、牛乳でした。

*アルファ化米……ご飯を急速乾燥させたもので、お湯や水を加えるだけで食べられる。



非常食用のご飯は、すごく簡単に食べられるようになり、食べてもおいしくてびっくりしました。

(生徒感想)

あの日を忘れない

一月十七日、不審者の侵入を想定した避難訓練を実施しました。全員体育館に集合した後、防災訓練に切り替え、地震の規模や非常食について学習しました。

また、三年生生徒会役員の生徒が中心となり阪神淡路大震災の追悼集会が行われました。そこで、全生徒にあの日を絶対に風化させてはならないという思いを伝えていました。



次の日の給食では、非常食であるアルファ化米を試食しました。お湯を注ぐだけなのですが、その味の良さに驚いた生徒もいました。



お米を缶に入れてお湯を注いで20分待つだけ!簡単!

研究授業

本校は、「人間としての在り方」生き方を考える教育」の研究重点校として文科省より指定を受けております。そこで、定期的に研究会を行っています。その一貫として研究授業を行い、その後の研修会場で意見交換をし、生徒により響く授業というものを考えてきました。また、講師の先生を交え、学習会なども行ってきました。二月には「困難と思われる状況に出会ったときにも、肯定的に考えて行動する大切さを学ぶ」というねらいのもと、1年生で道徳の研究授業を行いました。生徒たちは積極的に参加し、班の中でお互いに意見を述べていました。

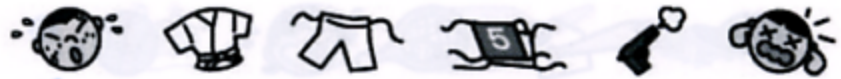
授業風景



中町中学校



の日記



効果音は鍵盤ハーモニカを使って…

まつ組



「うるおいちゃん
は泣きもせず、笑
ってばかりいま
した。」



ぶるんしずくちゃんの始
まり始まり…。「ぶるんし
ずくの森に一軒の家がありま
した。そこにはしずくという
可愛い男の子がいました。あ
る日、嵐が来ました。」

お話作りのだいすき♪
まつ組では数人の女児が紙芝居や人形劇を作って遊んでいます。もちろんストーリーは子ども達が考えました。「紙芝居の色を塗るのがおもしろかった」「人形劇の（人形の）スカートやズボンを工夫してん」「誕生会で発表しようか」「みんな上手とか、すごいとかって言うてくれるかなあ」などと口々に言い、とても楽しそうです。

あかるく なかよく たくましく
けんまなまつ組 杉原谷幼稚園 ゆかいなうめ組



音楽たのしいな♪

ゲストティーチャーとして何度か地域の方を招き、ピアノを弾いていただきました。すっかりピアノに興味をもった子ども達は、ピアノをはじめ、様々な楽器で音を楽しむようになりました。今はクラスのみんなで合奏をすることを目指して挑戦しています。



太鼓もやってみたいし、トライアングルもやりたい…。やってみたい楽器がいっぱい！



うめ組



ピアノの先生、素敵だったなあ…。あんな風に上手になりたいな。



Let's make a bear

エブリン先生だーいすききょうばんきょううして楽しかったのは、ティディベアをこくばんにはるおばんきょううが、いちばん楽しかったです。きょうう、はじめてチエオーとおぼえて、体のえい語が8こになつてうれしかったです。

ドキドキドキドキのえい語わたしは、はすかしくて入ってくる先生におしりをむけてしまいました。その中に2人の外国の先生がいます。あたまは、ヘッド、はなは、ノーズ、くちは、マウス。まだまだいろいろあるからおもいまして。これからも、えい語、どんどんおぼえます。がんばるぞー。

先生がきました。前よりかもりあがりまして。わたしも楽しんでたけど、かえりません。すこく楽しんでいました。

またエブリン先生と早くえい語のおべんきょうをしたいです。またのえい語が楽しみです。

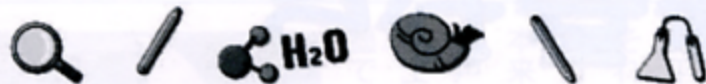
五時間目えい語かな
きあいがちやうぞう！
楽しいえい語です。それと、ほかの先生がきているので、後ろが気になります。でも、だんだん楽しくなってきました。でも、見ませんでした。後ろをその前に、きゆう食をいっしょに食べました。わになつて食べました。



中町北小学校2年生



英語活動の日記から



松井小学校 1.17は忘れない ひょうご安全の日事業 阪神淡路大震災から学ぼう

1月17日(木)のひょうご安全の日、EARTH(兵庫県教育委員会の震災・学校支援チーム)隊員の満堀隆宏先生(加美中学校事務職員)をお招きして防災教室を開きました。全校児童が阪神淡路大震災当時のようすや防災についてのお話を聞いた後、給食時間に多可町の防災担当から提供していただいたアルファ化米やクラッカー、献立の乾パンなどの非常用保存食の試食をしました。児童の日記や作文からその日の感想を紹介します。



ビスケット、アルファ化米、乾パンが並んだ給食。おかずは豚汁でした

給食のときに乾パン2つとビスケット1枚を食べました。乾パンはけっこう固かったです。ビスケットは前にも何回か食べたことがあるやつみたいでした。それと、アルファ化米というのをスプーン1杯ずつ4種類食べました。けっこうおいしかったです。私は乾パンをまた食べてみたいと思いました。

5年生

地震がすごく大きかったと聞いていました。でも、多可町までけっこう大きな地震があったことは初めて知りました。いろいろ写真を見せていただきました。どれもひどい写真はかりでした。加美区全員くらいの人々が亡くなったと聞いたときはびっくりしました。今すぐ大きな地震が起きてもおかしくないという感じがすごくつよくしました。



防災グッズとアルファ化米などの非常用保存食



児童はみんな震災の後から生まれました

今日、4時間目に阪神・淡路大震災の話を聞きました。私たちはまだ生まれていなかったけれど、動画や写真を見て、どれだけ強い地震だったかだいたい分かりました。台風は天気予報とかで知らせているけど、地震はいつ来るかわからないので怖いと思います。だから、家族で話し合ったり、非常持ち出し袋などを用意しておくことが大事だなと思っています。日ごろから訓練しておくことが大切だなと思いました。

4年生

八千代北小学校

一月二十三日

全校スキー教室

八千高原



きのうスキー教室がありました。バスに乗っていると、八千代は雨だったので、「だいじょうぶかなあ」と思っていたけど、向こうは雪がふっていました。着いて話を聞いて、スキーラクターの先生とゲレンデに行きました。最初は歩く練習でしたが、午後は林間に行ったり、リフトに乗って高い所から滑ったりしました。



今日、スキー教室でした。わたしはスキーをしたことがなかったのですが、心配でした。午前中は、こけてこけてたいへんでした。でも、午後になつたら、止まるようになったし、曲がれるようになりました。うれしかったです。リフトに乗ったときは、むちゃくちゃこわかったけど、何回も何回も乗ってたら、こわくなくなりました。さいごに、上から下までおりました。さいごはこけそうになったけど、こけなかったのが良かったです。また行きたいです。楽しかったです。

た。高い所からすべるとき、こけて、おいて行かれそうになりました。くやしかったです。でも、次はこけずに行きました。とってもうれしかったです。ほかにも去年よりうまくなっていたところが、いっぱいありました。曲がるところやスピードも速くなっていました。とってもうれしかったです。家に帰ってからお母さんに話したら、「へーっ」と、言っていました。また、スキーに行きたいです。





保健室から

八千代中学校

学校薬剤師による
〔飲酒〕の授業の様子



なんと本校の調査では八十一・五%の生徒がお酒を飲んだことがありました。飲酒が心身に害のあることを正しく理解し、大人になるまでは飲酒をきっぱり断ることが、それに伴う諸問題から自分を守ることになります。そこでスキル学習を取り入れながら学習を深めていきました。

パッチテストで
アルコールに
対する体質を
調べました

今日学習したこと
を家に帰って家族に
も話そうと思います。
(二年女子)

講師を招いて出張授業 2年生対象
薬物の中で、若者の使用頻度が高いのがアルコールです。近年、スーパリーなどで安値で入手しやすく、一見ジュースのようにも見え、かえって危険性が高くなっています。「もう一人前」と家族や友人にお酒を勧められ、好奇心からお酒に手を出してしまっているようです。

保健指導の充実**

***生涯を通じた健康づくりの基礎・基本を育て、自己管理のできる生徒を育成するための

【授業を受けての感想】

お酒があまり体によくないことは知っていましたが、肝臓や脳にまで影響があり成長期の私達には特に害になることがよくわかりました。でも少しならよいものにもなることもわかりました。そして、『パッチテスト』で、私はお酒に弱いことがわかり、大人になつたら気をつけてお酒を飲まなくてはいけないと知ることができました。

飲み方により死にいたることもあり父や祖父がたくさん飲むので気をつけてほしいと思いました。

校長先生の日



中町南小学校

モジュール学習

(音読・計算)で

集中力アップ!

本校では、学力向上の取組みの一環として、昨年十二月から全校一斉に毎週火曜、水曜、木曜日の朝八時二十五分～四十五分までの二十分間(音読と計算を十分間ずつ)、読み・書き・計算の徹底反復をするモジュール学習を実施しています。

モジュール学習のポイントは、

『スピード・テンポ・タイミング』。

そのうちでも特に重要なのは、『スピード』です。子どもたちは、友

だちと競う

のではなく

昨日の自分

と競い、昨

日より「し

っかり声を

出す」、「速

くする」た

めに全神経を集中して取り組んでいます。



の活性化を促

し、集中力や

持続力などの

学習能力や学

習への構え、

学習意欲の向

上に確かな効

果が期待でき

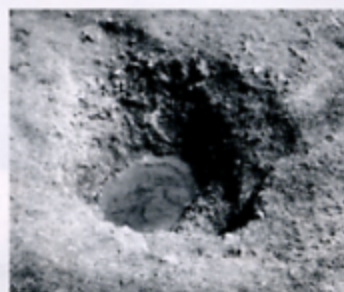
ます。

この『モジュール学習』の取組みと毎時間の『授業の充実』により、子どもたちに『確かな学力』(基礎的・基本的な知識や技能の習得に加え、これらを活用する思考力・判断力・表現力など、自分で課題を見つけ、自ら学び・考え、よりよく問題を解決する能力)を確実に身につけたいと考えています。

多可町の文化財発掘調査トビックス!!

たのくちのくちへらまちいせき
田野口・笹町遺跡

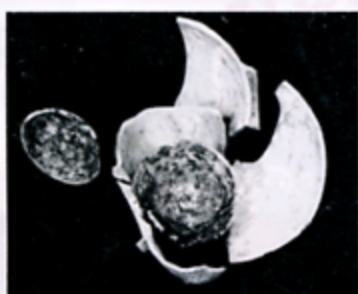
田野口・笹町遺跡は、中町東線建設に伴い平成16年より3カ年にわたる発掘調査によって発見されました。調査の結果、弥生時代～鎌倉時代にかけての遺構が発見され、古くから人々がこの地を利用して、連綿と活動していたことがわかりました。



奈良時代の井戸

平成16年度の調査では、奈良時代の井戸と

それに関連する溝が見つかっています。井戸は6.5×7.0mの四角い掘り方に径約2.5mの不正円形の竪穴が約1.5m掘り込まれているもので、本来は板組の井戸枠が設置されていたものとみられています。また、井戸の中からはたくさんの奈良時代の土器が出土しました。これらの土器の中には、『大口』や『門家』『三』『川』『宮口』等の、墨で文字の書かれた土器や、焼き塩用の製塩土器がたくさん出土し



井戸内からの土器の出土状況

ており、これらは官衙(役所)などの当時の公的施設の出土例が多くみられる遺物であることから、注目されます。



弥生時代終末期の溝からまとまった出土



溝から出土した土器群(接合後)

平成17年度の調査では、弥生時代～鎌倉時代前期の竪穴住居跡や掘立柱建物などの遺構群が確認され、かなり長い期間営まれた遺跡であることがわかりました。平成18年度の調査では、上層から平安時代後期～鎌倉時代前半を中心とする時代の遺構が、さらに下層からは弥生時代終末期を中心とする遺構が見つかりました。上層の遺構面では平安時代後期～鎌倉時代前半の掘立柱建物跡が4棟確認され、そのうちの1棟は同じ場所で見えがかわっていました。下層の遺構面では、弥生時代終末期の竪穴住居跡1棟のほか、大量の土器が出土する溝が発見されました。この住居跡や溝から出土する土器は、丹波・丹波地方に出土する土器の特徴を備えており、現在は播磨に属している多可町は、当時は北近畿の影響のほうが強き地域に属していたことが考えられます。



平安時代後期～鎌倉時代前半の掘立柱建物の柱穴



兵庫県立北はりま特別支援学校

多可郡多可町中区間子602-1 ☎0795-32-3672

のぎく訪問学級:多可町中区牧野183-1(のぎく療育園内)☎0795-32-3849

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kitaharima-yogo>



小学部の体育の取組



小学部には1年生から6年生まで18人の児童が在籍しています。人数が少ないので体育、音楽、図工等については学部全体で学習をしています。

今年度小学部では、体育の時間に全員でバランスボール運動に取り組んでいます。直径45cm～65cmのボールを使って、上に乗って弾んだり、バランスを取ったりして、いろいろな技に挑戦しています。とても楽しく、子どもたちが自分から積極的に運動するようになってきました。

中学部の音楽の取組

音楽の時間は、歌を歌ったりダンスをしたり、楽器を演奏したり、生徒たちは、伸び伸びいきいき一生懸命取り組めます。

右の写真は「親子よさこい」を鳴子を持って楽しく踊っているところです。



高等部の総合的な学習の時間の取組

日頃の授業は、職業・社会コースと生活コースに分かれて、個々の課題に応じて学んでいます。時には合同授業をして交流を深めています。



左の場面は、総合学習の時間に多可高校にいられている外国人講師のクリス・ステフィーさんに英語の授業を受けているところです。単語を聞きながら絵カードを取ったり、ジェスチャーをしたり……ちょっぴり異文化を楽しんでいます。

もうすぐ中学生!!

小・中学校連携の取り組み

中学校の先生の出前授業

中学校ってどんなところかな? 授業は進むのが速くて難しそう。先生こわくないかな? そんな小学校6年生のために、中町北小学校、中町南小学校において、中町中学校の先生による「出前授業」が行われました。

授業を受けた児童は:

中学校の数学は難しそうだったけど、出前授業を受けて中学校の数学がすこくおもしろくなりました。大とか小の数を求める計算もはじめはできなかったけど、説明を聞いてできるようになりました。鶴亀算は全然分からなかったけど、最後にはできるようになりました。中学校の数学が楽しになりました。

最初はどんなきびしい先生かと思ってたけど、おもしろそうな先生で良かったです。浦島太郎も私が知っている物語とぜんぜんちがったのでおもしろかったです。中学校でこんな勉強ができると思ったら、中学校が楽しになりました。

授業を参観した保護者は:

中学校の授業の進め方は速いですね。大変です。やっぱり楽しい授業でした。もう一度私も生徒になりたい!



※第7号お詫びと訂正

12項の多可町生涯スポーツ振興委員会藤原孜委員長のお名前が間違っておりましたことをお詫び申し上げます。